



平成30年度



市民参加型

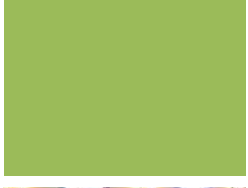
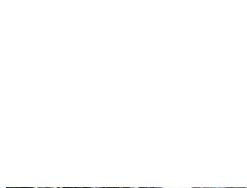
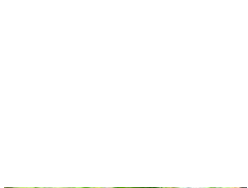
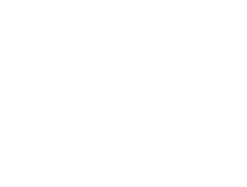
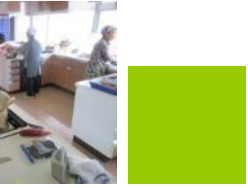
まちづくり1%

システム



採択事業

活動事例集



「市民参加型まちづくり1%システム」の事例集です。

今年度は、市民のみなさんから提案があった65件の事業が市内各所で行われました！！

地域のこと・地域に住むみなさんのことを思って、

よりよいまちにするための、たくさんのアイデアが集まっています。

- 自分たちの活動へのヒントに…
- 気になる事業を探して、参加するために…

などなど、ぜひ参考にしてください。

弘前の協働によるまちづくり

弘前では、まちづくりの基本的なルールを決めるために

「協働によるまちづくり基本条例」を定めています。

市民のみなさん・議会・執行機関（市役所）が

それぞれの役割を果たして、

「市民の幸せな暮らし」を実現できるように

まちづくりに取り組んでいきましょう。



平成30年度に採択された事業の紹介 目次

分野	No.	事業名	団体名	頁
地域コミュニティによる地域活性化	1	城西エリアガイドブック	城西町会連合会	1
	2	～ 和徳の歴史の探求と伝統ある津軽の歴史の魅力発信事業 ～ 題「けの汁発祥の地 和徳城」和徳城主 小山内讃岐の守没後447年祭	和徳歴史探偵団	1
	3	いわなのつかみどり体験	特定非営利活動法人 藤代地域ふれあいの会	2
	4	大仏公園あじさいまつり	石川町会	2
	5	清原中央町会史発刊	清原中央町会	3
	6	鬼橋地域「歴史と伝説の里づくり事業」	歴史と伝説の里「鬼沢の会」	3
	7	乳井 夏のフェスティバル	乳井町おこし協力会	4
	8	大沢サマーフェスティバル	大沢サマーフェスティバル実行委員会	4
	9	十面沢お山の会（お山参詣）	十面沢お山の会	5
	10	東目屋地区・多賀神社の清水大祭とともに ねまり相撲大会	楽しいね!!東目屋実行委員会	5
	11	みんな集まれ!! (ジジババ、トッチャン、カッチャン、君と僕)	向外瀬町会	6
	12	ずぐり・フラフープ回し体験	特定非営利活動法人 藤代地域ふれあいの会	6
地域防災・防犯・青少年健全育成	1	青少年健全育成・地域づくり・地域世代間交流事業「第5回 津軽の伝統文化と昔の遊びに触れてみよう」	時敏地区青少年育成委員会	7
	2	防災・地域づくり・地域世代間交流事業「第2回 西部仲町 自主防災会 避難訓練事業」	西部仲町 自主防災会	7
	3	弘前市民への防災力・減災力の向上推進隊	弘前市防災マイスター連絡会	8
	4	大成小学校区内の通学路等における見守り活動	たいせいクマノミ隊	8
	5	三大地区地域・子ども見守り活動	三大地区地域づくり連絡協議会	9
	6	防災・減災・地域づくり事業「第2回 自由ヶ丘町会 自主防災会 避難訓練事業」	自由ヶ丘町会 自主防災会	9
地域課題解決	1	乳井区域内放棄地の環境整備と美化活動	乳井町おこし協力会	10

分野	No.	事業名	団体名	頁
福祉・保健	1	市民健康増進事業 「第7回 津軽岩木スカイラインを歩いてみよう会」	弘前歩こう会	11
	2	親子触れ合い「親子じゃれつき遊び」と 子どもの生活習慣・体力・社会性をはぐくむ 「コーディネーションを取り入れた運動遊び」	子育て支援サークルマーズクラブ	11
	3	弘前市民の森で元気になろう	弘前市民の森の会	12
	4	ひろかんセミナー	一般社団法人 弘前芸術鑑賞会	12
	5	無料の学習支援と食事提供の子ども食堂	子ども食堂すこやかプロジェクト	13
	6	弘前暮らしの保健室	弘前暮らしの保健室	13
	7	岩木山 YOGA フェスティバル	特定非営利活動法人 SEEDS NETWORK	14
	8	子育てが楽しくなるパママ楽習会	子育てパママ楽習会運営委員会	14
	9	おこまりごと（無料）相談室	津軽保健生活協同組合	15
	10	認知症、正しく知って楽しく予防しましょう	特定非営利活動法人 ひろさきレクリエーション協会	15
	11	子ども達に CAP を届けよう 副題「あなたは大切なひと」	あおもり CAP の会中弘南黒地区	16
	12	“わ”と“な”の生き活きサークル 3	“わ”と“な”の生き活きサークル 実行委員会	16
	13	障がい者スポーツ環境整備事業～定期的な活動 場所の提供～ユニバーサルスポーツクラブ開催	特定非営利活動法人 スポネット弘前	17
	14	第5回弘前城リレーマラソン 冬の陣	特定非営利活動法人 スポネット弘前	17
環境	1	宴の後には地球に戻そうプロジェクト	特定非営利活動法人 もったいないつがるの会	18
	2	リサイクルステーション モデル事業	特定非営利活動法人 もったいないつがるの会	18
	3	岩木山エコプロジェクト	岩木山観光協会	19
農業	1	WA のりんご ～もっとりんごを身近に～	Aプロジェクト	19
cultural	1	中心6 商店街接客英会話 無料セミナー・観光 英語ボランティア事業	弘前市英会話サークル Globish	20
	2	「簡単な韓国語で弘前を紹介する講座」事業	弘前韓国語勉強会	20
	3	「無料接客中国語セミナー・観光中国語ボランティ ア事業」	弘前市中国語を楽しむ会	21

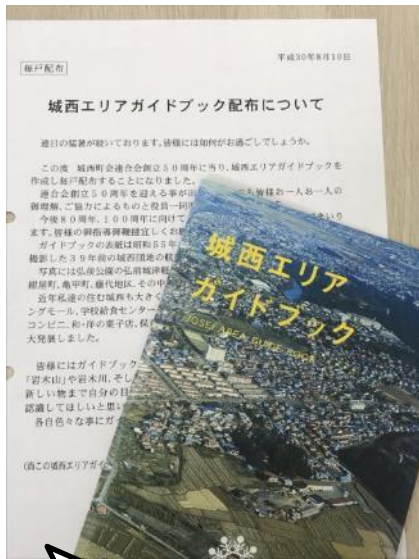
No.	事業名	団体名	頁
1	文化振興事業「第2回 大森勝山遺跡と世界遺産登録を学ぼう会」	弘前縄文の会	22
2	小学校体育支援事業「運動大好きプロジェクト」	特定非営利活動法人 スポネット弘前	22
3	弘前スティーロパン・フェスティバル	弘前大学スティーロパン部	23
4	弘前さくらコンサート Vol. 4	Rainbow Muse Hirosaki	23
5	焦点 ―弘前とかけて落語ととく、その団体とは―	弘前男女らくご振興協会	24
6	太宰治ドラマリーディング 津軽カタリスト定期公演事業	津軽カタリスト	24
7	みんなのウォークラリー大会 <城下町弘前の文化>に触れながら街探検をしよう	特定非営利活動法人 ひろさきレクリエーション協会	25
8	第2回公演 メリーポピンズ	弘前子ども・おとなミュージカルクラブ	25
9	第7回こざんフェス	こざんフェス実行委員会	26
10	おしごと体験広場キッズハローワーク	おしごと体験広場キッズハローワーク実行委員会	26
11	りんごのある暮らしと仕事	おしごと体験広場キッズハローワーク実行委員会	27
12	津軽笛を通じた地域交流事業 (第3回 全日本横笛コンクール)	津軽笛地域づくり実行委員会	27
13	松森町津軽獅子舞のしおり作成	松森町津軽獅子舞保存会	28
14	主体的に生きる力を育む 「キャリア教育・ドリームマップ授業」	ドリームマップ@ひろさき	28
15	「ひろさき美術館3」	弘前アートプロジェクト実行委員会	29
16	コミュニティシネマ事業「harappa 映画館」	NPO 法人 harappa	29
17	子ども harappa びじゅつのじかん	NPO 法人 harappa	30
18	ギネス記録も持つ！！津軽の笛が大集合！ 第6回 津軽笛博覧会	津軽笛地域づくり実行委員会	30
19	スポーツ指導者講習会&青少年のスポーツ環境フォーラム～部活動がなくなるときの、指導者、地域はなにをしていくべきか～	特定非営利活動法人 スポネット弘前	31

分野	No.	事業名	団体名	頁
その他	1	HIROSAKI JAZZ STREET 2018	弘前駅前遊歩道賑わい祭実行委員会	32
	2	「あのね、知ってる？ここにもフランス」プロジェクト	弘前グローバル・アクション	32
	3	DOG FES IWAKI 2018	DOG FES IWAKI 実行委員会	33
	4	「家の整理は 心の整理」シンプルで心地よい暮らしを一緒に見直してみませんか	弘前友の会	33
	5	ひろさきの「古い街並み写真」の水彩写生を通じて街並をアーカイブする重要性を再認識しよう 「みんなで描こう ひろさき『古街(ふるまち)』百景」	津軽ひろさきマーチング委員会	34
	6	冬に咲くさくらライトアップ	冬に咲くさくらライトアップ実行委員会	34

(分野別申請順)

城西エリアガイドブック

城西町会連合会 ●●●



城西エリアに住む人に知ってほしい
情報を集めました！

実施日：平成30年4月1日～8月31日
実施場所：城西地区内 ほか
参加者：約80人
補助金額：241,000円（総事業費：268,192円）

目的 市の「眺望景観保全地区」に指定されている城西地区の景観や、県重要文化財に指定されている熊野宮など、城西地区の素晴らしいところを地域に住んでいる人たちに実感してもらうこと。

内容 気軽に持ち歩き、散策できるガイドブックを作成しました。岩木山や岩木川の眺めが良い所やエリアの中にあるお店などを調査し、内容に盛り込みました。

効果 ガイドブックに載っている場所を知らない住民もあり、地域の中にある魅力を知ってもらうきっかけになりました。

～ 和徳の歴史の探求と伝統ある津軽の歴史の魅力発信事業 ～

題 「けの汁発祥の地 和徳城」和徳城主 小山内讃岐の守没後447年祭

和徳歴史探偵団 ●●●



けの汁とともに
和徳の歴史を
伝えました！



実施日：平成30年4月1日～平成31年3月31日
実施場所：和徳稻荷神社境内、堀越城跡 ほか
参加者：1,500人
補助金額：418,000円（総事業費：771,010円）

目的 和徳の歴史や伝統を継承し、和徳の活性化につなげること。

内容 宵宮に合わせて447年祭を開催し、和徳城の歴史についての掲示と、けの汁のふるまいを行いました。また、けの汁コンテストも行い、堀越城秋祭りにて表彰式とグランプリ作品のふるまいも行いました。

効果 和徳が「けの汁発祥の地」であることを発信し続けることで、地域住民をはじめ、市民に和徳の歴史を知ってもらうことができたほか、けの汁を普段食べない人に食べてもらう機会を作ることができました。

いわなのつかみどり体験

特定非営利活動法人 藤代地域ふれあいの会 ●●●



元気ないわなをつかみどり！
子どもたちには貴重な体験。

実施日：平成 30 年 6 月 17 日

実施場所：藤代公民館

参加者：250 人

補助金額：437,000 円（総事業費：615,661 円）

目的 地域の子どもたちにさまざまな体験を重ねて成長してもらおうこと。青少年の健全育成、体験の場を通しての地域の多世代交流を図ること。

内容 会場に仮設の生けすを造り、いわなを素手でつかみ取る体験を行いました。地域の園児、小学生 1・2年、3・4年、5・6年の年齢別で 4 クラスに分け、つかみ取る速さを競いました。

効果 子どもたちは、普段体験できない生きた魚を素手で触る体験を喜んでいました。また、保護者やおじいちゃん・おばあちゃんが子どもたちに魚の掴み方を教えるなど世代間の交流が生まれました。

大仏公園あじさいまつり

石川町会 ●●●



満開のあじさい



あじさいの季節はもちろん、
いつでも大仏公園に足を運んでください！

実施日：平成 30 年 4 月 1 日～10 月 30 日

実施場所：石川大仏公園

参加者：4,700 人

補助金額：500,000 円（総事業費：622,230 円）

目的 町会にある大仏公園と、公園内に咲くあじさいを広く市民に知ってもらうこと。

内容 あじさいまつり開催期間中に、公園内の中にクイズポイントを設置して公園内を巡ってもらったり、川柳や絵を募集し、祭り後に作品を弘南鉄道大鰐線の電車内に展示しました。特別イベント日に、紙ひこうき大会や祭りを盛り上げるためのジャズ演奏・アカペラコーラスで、より多くの市民に足を運んでもらいました。

効果 継続して開催し、各報道機関が取り上げてくれたこともあり、多くの市民に大仏公園やあじさいが知られるようになり、来園者が増えました。

清原中央町会史発刊

清原中央町会 ●●●



町会の歩みの中で印象的な出来事を
写真を交えながら紹介しました！

実施日：平成30年4月1日～平成31年2月15日

実施場所：清原中央町会区域

参加者：294人

補助金額：500,000円（総事業費：789,843円）

目的 町会の歩みを現在および将来の世代に継承し、町会活動への理解を図り、今後の町会や地域の活性化を目指すこと。

内容 町会設立時からの行事や活動についての資料や、町会長経験者、町会最高齢者や子ども達のインタビューを収集・整理し、町会の活動をまとめた「町会史」を作製し、每户へ配布しました。

効果 40年間に及び町会活動をまとめることができ、住民から反響がありました。また、メッセージが載った子どもたちの保護者からも、喜びの声が聴かれました。

鬼檜地域「歴史と伝説の里づくり事業」

歴史と伝説の里「鬼沢の会」 ●●●



鬼沢には
さまざまな魅力が満載

実施日：平成30年4月1日～平成31年3月29日

実施場所：鬼沢研修会館 ほか

参加者：317人

補助金額：325,000円（総事業費：384,445円）

目的 鬼沢地区の魅力を発信することで、地域の活力を生み出すこと。また、地域資源を後世に伝える人材を育成すること。

内容 鬼沢地域に伝わる「鬼伝説」や、義民・藤田民次郎の生涯を紹介し、関連する地域の名所を散策したり、農業体験や郷土料理を試食するツアーを開催しました。地域外の方に対する地域紹介の散策会と研修会も行いました。

効果 ツアーに市民が集い交流することによって、鬼檜地域の宣伝に強い効果を発揮しました。史跡を訪れる観光客や地域行事の見物客が増加するなど、地域の注目度の高まりを実感しました。

乳井 夏のフェスティバル

乳井町おこし協力会 ●●●



神社の三十三年式年祭にあわせて



地域を活発に！

実施日：平成 30 年 7 月 28・29 日、8 月 2・3・18 日

実施場所：乳井神社境内・沿道、乳井町民会館 ほか

参加者：のべ 1,050 人

補助金額：310,000 円（総事業費：345,491 円）

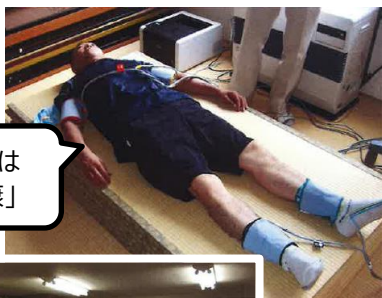
目的 まちの底力を引き出し、文化財や郷土芸能の保存への意識を高め、これまで整備をしてきた地域の各所を町会内外に PR し、地域の活性化につなげること。

内容 乳井神社の 33 年式年祭にあわせて夏祭りを開催し、地域の文化財の防災訓練や獅子舞、消防団によるまとい振りなどを行いました。また、歴史マップを配布し、乳井の歴史を広く知ってもらいました。

効果 子どもから高齢者まで交流ができました。また、各団体の PR ができたことから若者の参加につながるなど、各団体が一緒に活動をしていた昔の結束力に近づくきっかけになりました。

大沢サマーフェスティバル

大沢サマーフェスティバル実行委員会 ●●●



テーマは「健康」



まつりでは獅子踊も披露

実施日：平成 30 年 8 月 11 日

実施場所：大沢町民会館

参加者：480 人

補助金額：296,000 円（総事業費：337,789 円）

目的 地域住民に健康について興味を持ってもらうこと。祭りに参加して交流を深めてもらい、お互いの顔が見える関係を作り出し、地域の活性化につなげること。

内容 祭りの同日に、地域から要望があった“健康”をテーマにした講演会と減塩料理教室や血管年齢測定などを行いました。祭りでは、地域の各団体による出店や大沢獅子舞のお披露目などが行われました。

効果 講演会では減塩の大切さにテーマに、料理教室では「だし活」をテーマにしたことで、住民が生活習慣を考える機会を作ることができました。祭りに参加する人がたくさんおり、交流を深めることができました。

十面沢お山の会（お山参詣）

十面沢お山の会 ●●●



みんなで旗作り！



実施日：平成 30 年 9 月 9 日

実施場所：岩木山神社、十面沢町内

参加者：80 人

補助金額：257,000 円（総事業費：633,867 円）

目的 次世代にお山参詣を継承していくためにも、準備段階から地域に参加を呼び掛け、子どもたちも巻き込み、町内を活性化させること。

内容 十面沢地区で、五穀豊穡を祈願する伝統行事として行われてきたお山参詣を行いました。また、子どもたちには旗作り体験と囃子の練習にも参加してもらいました。

効果 大きな町会行事がない中、様々な世代や他地域の方など、初めて参加した方もいて交流が生まれ、事業を通じて地域を活性化することができました。また、子どもたちに伝統文化を知ってもらうこともできました。

東目屋地区・多賀神社の清水大祭とともに ねまり相撲大会

楽しいね!!東目屋実行委員会 ●●●



手に汗握る
熱い戦い！



中学生による神社ガイド

実施日：平成 30 年 8 月 17 日

実施場所：多賀神社前

参加者：500 人

補助金額：500,000 円（総事業費：810,288 円）

目的 地区外にも東目屋をPRできる祭りを開催し、東目屋地区の一体感を深めること。多くの人を呼び込み地区外へ魅力を発信し、東目屋に住むことへ自信を持ってもらうこと。

内容 地域住民に親しまれている多賀神社の清水大祭にあわせて、祭りとなまり相撲の大会を開催しました。

効果 住民を巻き込んで開催することができたので、地区全体が盛り上がりました。積極的に子どもたちや若い世代に協力してもらい、次世代の育成にもつながりました。新聞やテレビの報道があり、参加した方にはもちろん、広く東目屋地区をPRすることができました。

みんな集まれ！！（ジジババ、トッチャン、カッチャン、君と僕）

向外瀬町会 ●●●



ついたお餅は・・・



みんなで調理！

実施日：平成 30 年 7 月 8 日～12 月 21 日

実施場所：向外瀬町内

参加者：464 人

補助金額：62,000 円（総事業費：134,886 円）

目的 町会の各種団体が子どもたちを核にした行事を開催することで、活動に興味を持ってもらい、親も巻き込みながら、団体の維持継続と活性化を図ること。

内容 文化財の防災訓練、歴史雑学講座、御薬園巡りと地域の伝統文化体験、収穫祭（やきいも会）、餅つき大会を行いました。

効果 地域の中で歴史ある場所を訪れる機会を作ったことで、地域や地域の歴史に興味を持ったという方がいました。また、参加者の中から婦人会への入会した人もおり、今後の活動の活性化につなげることができました。

ずぐり・フラフープ回し体験

特定非営利活動法人 藤代地域ふれあいの会 ●●●



ずぐりを回して

フラフープを回して



楽しく多世代交流♪

実施日：平成 30 年 12 月 4 日～23 日

実施場所：藤代公民館 講堂

参加者：のべ 229 人

補助金額：112,000 円（総事業費：160,102 円）

目的 ずぐりやフラフープの体験を通して、地域の子どもと高齢者の交流を図り、地域の活性化につなげること。

内容 幼児から一般までを対象として、ずぐり回しの体験・大会や、フラフープの体験を行いました。

効果 高齢者が子どもたちにずぐり回しやフラフープを教えることで、世代間で交流ができ、お互い楽しい時間を過ごしていました。古くからの遊びの楽しさや、健康にも効果があることを実感してもらうことができました。

青少年健全育成・地域づくり・地域世代間交流事業
「第5回 津軽の伝統文化と昔の遊びに触れてみよう」

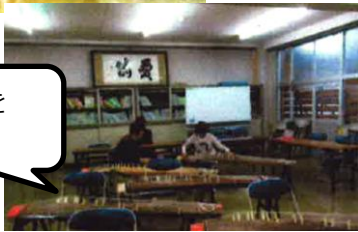
時敏地区青少年育成委員会 ●●●



地域の歴史を知ろう！



昔の遊び
竹馬



お琴を
体験

実施日：平成30年4月1日～11月12日

実施場所：時敏小学校

参加者：318人

補助金額：378,000円（総事業費：430,589円）

目的 地区内の世代間交流を図ると共に、地域の大人が協力して子どもたちの健全な成長を培うことへの理解につなげる。地区の伝統文化と文化遺産のさらなる理解と保存継承の大切さを子どもたちに伝えること。

内容 時敏小5年生を対象に、弘前の歴史と地区の特徴を学べる講座と、地区の小中学生を対象に伝統技芸・伝統芸能の鑑賞・体験、昔の遊び体験を行いました。

効果 どちらの内容に関しても、参加した子どもたちや学校関係者から、大変楽しく学べて有意義で、貴重な体験ができたという好評を得られました。

防災・地域づくり・地域世代間交流事業
「第2回 西部仲町 自主防災会 避難訓練事業」

西部仲町 自主防災会 ●●●



炊き出し訓練
お米を炊こう！



消火器は
下を狙って…

実施日：平成30年8月11日

実施場所：仲町緑地公園など

参加者：55人

補助金額：418,000円（総事業費：465,515円）

目的 一昨年、自主防災会を設立したのを機会として、町会内で災害弱者や孤立者をできる限り出さないために、町民全員が協力しあえる体制をつくること。

内容 町会だよりやチラシを配布し、町民に周知をしました。当日は防災のための機材を確認し、子どもたちも参加しながら水消火器訓練や、避難者救護の訓練や炊き出しなどを行いました。

効果 町会関係者や子ども達に積極的に参加してもらい、講師からは参加者の防災に対する意思の高さを評価していただきました。また、訓練をすること資機材などをどのように利用するか確認できました。

弘前市民への防災力・減災力の向上推進隊

弘前市防災マイスター連絡会 ●●●



実施日：平成30年4月1日～平成31年3月28日
 実施場所：弘前市内全域
 参加者：255人
 補助金額：294,000円（総事業費：332,778円）

目的 県内でも「自主防災組織」の結成率が低い弘前市において、防災組織の必要性を呼びかけ、防災組織率の向上に寄与すること。

内容 防災に関する研修会や、出前講座を実施しました。また、自主防災組織を結成していない町会を対象に、組織結成についてのアンケート調査を行い、結成の仕方のマニュアルを作成・配布しました。

効果 アンケート調査を行ったことで、各町会の現状や防災意識を知ることができ、自主防災組織を結成する町会が増えるための取り組み方法を検討することが可能になりました。

大成小学校区内の通学路等における見守り活動

たいせいクマノミ隊 ●●●



実施日：平成30年10月1日～平成31年3月25日
 実施場所：大成小学校区内通学路
 参加者：100人
 補助金額：243,000円（総事業費：270,000円）

目的 子どもの見守り活動において、より広く参加を募り活性化させ、子どもたちの安全意識を向上させること。地域の一体感を醸成し、防犯効果を高めること。

内容 防犯ベストを新たに購入して子どもたちの登下校時などに見守り活動を行い、あわせて安全標語の募集・ポスター作成も行いました。

効果 防犯ベストの着用により参加者の意欲がわいてきて、参加者が増えました。見守り活動の認知度も向上し、子どもたちとも安心して挨拶・声掛けできるようになり、安全確保に寄与することができました。

三大地区地域・子ども見守り活動

三大地区地域づくり連絡協議会



地域のみんで話し合いも。

実施日：平成 30 年 10 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

実施場所：第三大成小学校区内

参加者：100 人

補助金額：106,000 円（総事業費：118,308 円）

目的 子どもたちや保護者、教職員、地域住民の、地域での事故や犯罪を防止する意識や、安心・安全な地域づくりへの積極的な参加意識を高めること。

内容 防犯ベストを新たに購入し、交通量の多い拠点を中心に見守り活動や危険箇所の点検を行いました。また、学区内の生涯学習講座で安心・安全な地域づくりをテーマとして取り上げました。

効果 防犯ベストを着用して活動したことで、参加者のみならず、児童・地域・地域住民が防犯意識を高めることができました。この事業をきっかけに、生涯学習講座で三中生・地域の人たちと、安心安全な町づくりについて話し合うことができました。

防災・減災・地域づくり事業

「第 2 回 自由ヶ丘町会 自主防災会 避難訓練事業」

自由ヶ丘町会 自主防災会



一時避難先の公園から避難所への移動を体験



実施日：平成 30 年 10 月 8 日

実施場所：自由ヶ丘公園、弘前南高校第一体育館

参加者：60 人

補助金額：229,000 円（総事業費：260,562 円）

目的 災害弱者や孤立者を可能な限り町会内で生じさせないため、住民 1 人 1 人に災害への危機意識を持ってもらい、協力し合い災害に対応する力を身に付けること。

内容 震度 7 の地震発生を想定し、自由ヶ丘公園から弘前南高校への避難訓練、避難所開設・運営、炊き出し・消火器点検などを行いました。また、防災学習会（防災資材の説明・体験・展示など）も行いました。

効果 避難所開設・運営などを体験してもらうことで、地域住民の防災意識を高めることができたほか、近隣町会の自主防災組織結成の機運を高める一助となりました。

乳井区域内放棄地の環境整備と美化活動

乳井町おこし協力会 ●●●

ジャングル状態を
住民の手で
開拓！



地域の歴史を
改めて勉強

実施日：平成 30 年 4 月 1 日～12 月 30 日
実施場所：乳井町会内
参加者：263 人
補助金額：484,000 円（総事業費：538,328 円）

目的 遺跡や里山の美化活動や歴史の勉強会などを通して、地域の良さを再認識してもらい、愛着を高めていくこと。

内容 茶臼館の沿道改修やホタルが集まるため池の草刈り・清掃、古井戸の修繕整備、散歩コースを整備したほか、絶景を見る会や歴史の勉強会を行いました。

効果 散歩コースが歩きやすくなったことや Facebook での PR 活動もあり、町会以外からの訪問者が増え、ため池では自主的にホタルの観察をする親子も見られました。また、高齢者がコースを歩き始めており、健康づくりの一助にもなっていることを感じました。

市民健康増進事業 「第7回 津軽岩木スカイラインを歩いてみよう会」

弘前歩こう会 ●●●



自分のペースで



頂上からの絶景！

実施日：平成30年9月2日
 実施場所：津軽岩木スカイライン
 参加者：208人
 補助金額：490,000円（総事業費：856,147円）

目的 弘前市や岩木山の魅力を全国に発信すること、市民の健康増進と親睦交流を図ること。

内容 市内外から参加者を募り、普段は歩くことができない「津軽岩木スカイライン」を自分のペースで歩いてもらいました。天気にも恵まれ、ゴール後に岩木山や鳥海山の山頂まで登った人もたくさんいました。

効果 スカイラインから見える眺めを楽しみながらあることができるということで、小学生や高齢者、県外からの参加もあり、参加したみなさんの健康増進の一助となりました。

親子触れ合い「親子じゃれつき遊び」と子どもの生活習慣・体力・社会性をはぐくむ「コーディネーションを取り入れた運動遊び」

子育て支援サークルママーズクラブ ●●●



ママのためのケアピクスで心身を整えます☀



実施日：平成30年4月1日～平成31年3月31日
 実施場所：青森県武道館、弘前海洋センター、みどり保育園、泉野コミュニティ施設
 参加者：のべ533人
 補助金額：140,000円（総事業費：347,083円）

目的 子どもの運動の機会と、養育する親の情報交換の場として活用してもらうこと。

内容 身近なものを使ったり、運動の基本になる動きを取り入れたりして親子で遊ぶ機会を定期的に提供しました。また、産後のお母さんのためのボディメンテナンスも開催しました。

効果 定期的に親子で遊ぶことで、子どもの変化に驚くとともに信頼関係を築くことができ、子育て生活を楽しむことができるようになったという声がありました。ボディメンテナンスの参加者からは、普段から自身の体について気を付けるようになったとの声もありました。

弘前市民の森で元気になろう

弘前市民の森の会 ●●●



豊かな
自然に囲まれて
リラックス…



実施日：平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

実施場所：弘前市民の森 ほか

参加者：405 人

補助金額：162,000 円（総事業費：278,176 円）

目的 森林療法や園芸療法の体験をとおして、市民の心身の健康向上や不安の解消をすること。

内容 主に高齢者や一人暮らしの方を対象に、市民の森の散策や、お抹茶・押し花・陶芸体験、野菜作りなどを行いました。また、地域の催しなどへ出向いて、押し花などの体験も行いました。

効果 参加者が体験をとおして、他者への思いやりがある言葉や行動が見られるようになったり、健康に対して前向きになる様子が見られました。また、活動への参加に隣人を誘う方もいて、地域コミュニティの活性化にも寄与しました。

ひろかんセミナー

一般社団法人 弘前芸術鑑賞会 ●●●



たくさんの講座で
生きがいがづくり



実施日：平成 30 年 4 月 4 日～平成 31 年 3 月 26 日

実施場所：一般社団法人弘前芸術鑑賞会事務局

参加者：のべ 508 人

補助金額：436,000 円（総事業費：486,000 円）

目的 主に高齢者が集まれる居場所づくりをすること。

内容 ひろさき健幸増進リーダーと連携して、健康に関する講座を行うほか、生涯学習講座では参加者の意見も取り入れながら、映画や押し花、物作りなどさまざまな分野に触れる機会を提供しました。

効果 参加者が楽しみながらセミナーを受講したことで、参加者同士の交流も生まれ、生きがいがづくりにつながりました。セミナーを通じてコミュニティが広がり、生涯学習の楽しさや、生きることの楽しさを市民に提供できました。

無料の学習支援と食事提供の子ども食堂

子ども食堂すこやかプロジェクト ●●●



実施日：平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

実施場所：弘前市社会福祉センター

参加者：のべ 482 人

補助金額：170,000 円（総事業費：280,307 円）

目的 経済的に厳しい世帯の子どもや保護者に学習支援と温かい食事を提供することで孤食を防ぎ、にぎやかに楽しく食べる喜びを知ってもらうこと。

内容 月 1 回（休み期間中は毎週）土曜日に子ども食堂を開催しました。午前中は学習支援を行い、昼食を参加者で食べました。活動の参考にするため、構成員が子ども食堂や子どもの貧困を扱った研修会に参加しました。

効果 参加者が増えたことから、安心の居場所や地域の関係づくりの場として期待されていることを感じました。夏の行事は天候に恵まれ、冬の行事は予想外の大勢の参加があり、親子含め全員で楽しむことができました。



勉強したら
みんなでごはん！

弘前暮らしの保健室

弘前暮らしの保健室 ●●●



救急についても学びました

実施日：平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 17 日

実施場所：清水交流センター

参加者：335 人

補助金額：125,000 円（総事業費：139,568 円）

目的 日々の生活の中で生じるちょっとした悩み事を相談できる場所をつくり、地域の人々が自分らしく生きるため、生活をお互いに支えあうまちづくりを目指すこと。

内容 健康チェックや調理実習のほか、ダンベル体操・笑い体操、施設見学や研修会を行いました。また、介護や健康についての相談・支援窓口にもなりました。

効果 定期的に同じ場所で開催してきたことで、地域住民の理解や認識が広まり、誰もが気軽に参加し、相談できる場所として定着してきました。南部地域包括支援センターとの連携により、職員や入居者との交流も生まれました。



岩木山 YOGA フェスティバル

特定非営利活動法人 SEEDS NETWORK ●●●



雨天のため屋内での実施

ただみなさんののびのびヨガ体験！



実施日：平成 30 年 9 月 22 日

実施場所：岩木青少年スポーツセンター

参加者：300 人

補助金額：500,000 円（総事業費：743,341 円）

目的 自然豊かな岩木山周辺でヨガを体験し、体を動かす楽しさを実感したり、ストレスの多い現代社会で楽しみ、リラックスしてもらうこと。

内容 ヨガやピラティスレッスンのほか、ウォーキングと組み合わせた企画など、自分のペースに合わせたヨガを体験してもらいました。子ども向けのストライダーや木登り体験、マッサージのブースも出展しました。

効果 一人一人がイキイキと体を動かし、ヨガにチャレンジしている姿が見られ、体を動かす楽しさを実感してもらえました。参加者が自分自身の健康を見つめ直すきっかけの1日をつくることができました。

子育てが楽しくなるパパママ楽習会

子育てが楽しくなるパパママ楽習会運営委員会 ●●●



子育てを楽しむために学び、悩みを共有する場



実施日：平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 17 日

実施場所：ヒロロ（イベントスペース、多世代交流室、子どもの広場 多目的室）

参加者：のべ 185 人

補助金額：347,000 円（総事業費：433,653 円）

目的 楽しい子育てのために、パパママ同士のつながりを育み、心の安定と欲求充足をサポートし、子どもにとってもより良い環境を作ること。

内容 講師を招いて、親子の具体的な関わり方や子育て法を学ぶ楽習会を開催しました。また、月1回振り返りや日々の子育ての課題をシェアする場も設けました。

効果 回を重ねるごとに参加者間の交流が生まれてきて、話している内容も少しずつ前向きな内容が多くなりました。また、パパの参加が増えてきており、夫婦で楽しくかます子育てをしている方が増えていると感じました。

おこまりごと（無料）相談室

津軽保健生活協同組合 ●●●



お買い物ついでに
気軽に相談



実施日：平成 30 年 7 月 1 日～平成 31 年 3 月 14 日

実施場所：ヒロロ 多世代交流室

参加者：100 人

補助金額：31,000 円（総事業費：34,755 円）

目的 医療や福祉に関して、一人でも多くの人が必要な支援を受けられるようにすること。

内容 毎月 1 回、気軽になんでも相談できる、現役の医師・看護師・社会福祉士による「おこまりごと相談室」を実施しました。

効果 相談者は、みんな笑顔で帰っていってくれました。専門の内容以外にも、就職相談や育児の悩み、介護相談などにも対応しました。「こういう相談場所がほしかった」という声もあり、気軽になんでも相談できる場所の必要性をさらに感じる事ができました。

〓認知症、正しく知って楽しく予防しましょう

特定非営利活動法人 ひろさきレクリエーション協会 ●●●

レクリエーションを通して
認知症を知ろう！



実施日：平成 30 年 10 月 21 日

実施場所：市民文化交流館ホール

参加者：86 人

補助金額：215,000 円（総事業費：241,209 円）

目的 認知症の当事者だけでなく、その家族や地域住民の方へ認知症に対する理解を深めてもらうこと。

内容 認知症サポーターの講演、認知症予防にもなるレクリエーション、年齢別体力測定、脳トレになる運動などを体験できるイベントを開催しました。津軽塗の研ぎ出し体験もあわせて行いました。

効果 講演には学生や、家族・自分自身のために認知症について学びたいという方が参加し、身近なものでできる体力測定を行ったことで、手軽に自分の体力を知るきっかけになりました。津軽塗研ぎ出し体験では、技術のことなどを話しながら楽しく体験してもらうことができました。

子ども達に CAP を届けよう 副題「あなたは大切なひと」

あおもり CAP の会 中弘南黒地区 ●●●

CAP (キャップ) とは、
Child Assault Prevention
子どもへの暴力防止の頭文字



寸劇を交えながら考えます



実施日：平成 30 年 7 月 1 日～平成 31 年 3 月 18 日

実施場所：市民会館、総合学習センター、
市立福村小学校、花園保育園

参加者：170 人

補助金額：228,000 円（総事業費：263,395 円）

目的 教育現場、行政関係者、保護者、地域の大人に、いじめ・暴力防止に対する共通認識を持ってもらうこと。

内容 暴力防止について学ぶことができる公開のワークショップと、小学校と保育園で職員・保護者・園児それぞれの層に向けたワークショップを行いました。

効果 一般の参加者から、「暴力防止」について知ることができたという声や、子どもと普段接している保育士の方から、暴力を予防するための教育の大切さを知ることができたという感想をいただき、少しずつ暴力防止の考えが浸透していると感じました。

“わ”と“な”の生き生きサークル3

“わ”と“な”の生き生きサークル実行委員会 ●●●



いろいろな
メニューを体験して
介護予防！



実施日：平成 30 年 7 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

実施場所：大成小地域交流室、天理教教会、
清原中央会館、城東集会所

参加者：のべ 576 人

補助金額：109,000 円（総事業費：202,014 円）

目的 筋肉・骨・関節などの機能が衰える「ロコモティブシンドローム」や認知症、高齢者の孤食を防ぎ、地域住民のコミュニケーション・社会参加の場をつくること。

内容 65 歳以上の市民を対象に、3 つの地域で月 1～2 回の介護予防教室を開催しました。ティータイムや軽食を提供し、参加者同士の交流も深めました。

効果 初回と最終回で行った体力測定から、参加者の体力は維持・向上していることがわかりました。講師による講話や盆踊り、歌を歌うなど、新しいメニューの追加も好評でした。参加者同士の口コミから参加者も増え、新たなつながりも生まれました。

障がい者スポーツ環境整備事業～定期的な活動場所の提供～ ユニバーサルスポーツクラブ開催

特定非営利活動法人 スポネット弘前 ●●●



簡単だけど
意外と頭脳戦「ボッチャ」



実施日：平成30年7月1日～平成31年3月31日
実施場所：弘前市身体障害者福祉センター 体育館
参加者：216人
補助金額：169,000円（総事業費：198,645円）

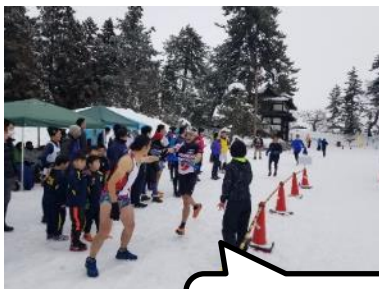
目的 障がいのある方が、スポーツを定期的に行うことができる場をつくり、継続的にスポーツに触れる機会を創出すること。

内容 月2回、障がいの有無に関係なく簡単に楽しむことができるスポーツの種目を選んで、スポーツクラブを開催しました。

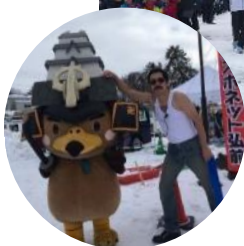
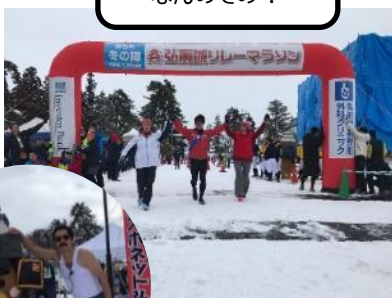
効果 スポーツをする場や機会が増えたことで、障がいのある方の余暇の充実や健康増進につなげることができました。参加者が声掛けをすることで参加者も増えていき、障がい者スポーツの普及と参加者同士の交流の場にもなりました。

第5回弘前城リレーマラソン 冬の陣

特定非営利活動法人 スポネット弘前 ●●●



寒さも雪も
なんのその！



実施日：平成31年1月27日
実施場所：弘前公園
参加者：400人
補助金額：500,000円（総事業費：956,087円）

目的 積雪や寒さの影響による、冬の運動不足解消や健康増進を図ること。

内容 参加者はもちろん、応援者や観客にも楽しんでもらえるようなお祭り感のあるランニングイベントを開催しました。

効果 県内外から多くの参加者が集まり、「楽しかった」「冬場にランニングイベントがあると助かる」などの声もいただき、外出の減少・運動不足解消につなげられました。総合順位以外にも特別賞を設定したり全員参加の抽選会も行うことで、マラソン以外でも楽しんでもらうことができました。

宴の後には地球に戻そうプロジェクト

特定非営利活動法人 もったいないつがるの会 ●●●



生ごみを堆肥化する
取り組みを紹介



みんなの手で地球を
温暖化から守ろう！

実施日：平成 30 年 4 月 1 日～10 月 15 日

実施場所：市内量販店、市民参画センター

参加者：500 人

補助金額：429,000 円（総事業費：657,620 円）

目的 宴会会場で発生した生ごみの堆肥化やリサイクル、市のリサイクルの現状を認識してもらい、「宴の後には資源リサイクル」という文化を醸成すること。

内容 さくらまつりやねぶたまつりの期間中に、市民や観光客へ生ごみ堆肥化やリサイクルの必要性を訴えかけ、モニター参加者を募りました。企業や市職労・教職員組合などにも取り組みを呼びかけました。

効果 例年の催事だけでなく、さくらまつりに合わせて啓発活動を行ったことで、予想以上の市民から関心を得ることができました。催事に立ち寄る市民も以前より増え、エコに対する関心が前進していると感じました。

リサイクルステーション モデル事業

特定非営利活動法人 もったいないつがるの会 ●●●



土の中に埋め込み、中に生ごみを入れると
分解されます。ごみ減量化への一歩！

実施日：平成 30 年 7 月 1 日～平成 31 年 2 月 28 日

実施場所：田町町会、堅田町会、宮川町会

参加者：80 人

補助金額：444,000 円（総事業費：553,600 円）

目的 ごみは燃やすものではなく、資源になるものだということを知ってもらうこと。

内容 モデル地域で生ごみ堆肥化に取り組みました。複数世帯で共用する大型電動コンポストや、埋め込み式の家庭用生ごみ処理機などを使って生ごみをリサイクルしてもらい、取り組みについてのレポートを提出してもらいました。

効果 全国の多くの自治体で取り組んでいるリサイクルを実践し、実際に見える形で事例を紹介することができました。参加者のレポートからは、今後他町会で取り組む際に役立てられる貴重な実践記録を得ることができました。

岩木山エコプロジェクト

岩木山観光協会 ●●●



きれいな岩木山
を守る！



実施日：平成30年7月1日～平成31年1月21日

実施場所：岩木山麓、宮地周辺

参加者：190人

補助金額：500,000円（総事業費：560,719円）

目的 弘前市民の環境問題に対する意識の向上とエコ活動の浸透を図ること。岩木山を美化すること。

内容 岩木山麓で、後を絶たない不法投棄の回収活動を7月と10月の2回にわたり実施しました。また、啓発活動について話し合うエコフォーラムの開催や、ほかのイベントで大型のデモポスターを掲示し、啓発に取り組みました。

効果 不法投棄物の処理活動を知った市民から、今後の活動に参加したいという声をいただき、継続してきたことで活動の輪を広げることができました。

WAのりんご ～もったりんごを身近に～

Aプロジェクト ●●●



りんごには
魅力と可能性が
いっぱい！

実施日：平成30年10月1日～平成31年3月8日

実施場所：百石町展示館、市民文化センター、
ヒロロ イベントスペース、市民会館

参加者：160人

補助金額：213,000円（総事業費：237,187円）

目的 弘前のりんごの魅力を広く市民に知ってもらい、りんごをより身近に感じてもらうこと。

内容 りんごをテーマにしたトークショー、りんごを使った料理教室、りんごの産業の勉強会と剪定枝を使った生花教室、シールドル講座を開催しました。

効果 トークショーでは、参加者にクイズを通して「もったりんごを知りたい、勉強したい」と意識を高めてもらうことができました。また、ラジオや新聞でイベントが取り上げられ、より広がりりんごの魅力や選定枝の活用について発信できました。

中心6 商店街接客英会話 無料セミナー・観光英語ボランティア事業

弘前市英会話サークル Globish ●●●



セミナーでしっかり学んで実践へ！



実施日：平成30年4月1日～平成31年3月31日

実施場所：市民参画センター、ヒロ口、弘前公園、弘前駅前

参加者：のべ134人

補助金額：183,000円（総事業費：204,330円）

目的 市民と外国人の国際交流の場を提供すること。外国人をおもてなしできるようになることで、商店街の活性化につなげること。

内容 4大祭りに合わせて、観光英語ボランティアセミナーと実際のボランティア活動を行いました。接客英会話セミナーでは、接客に必要な基本的な英会話や、飲食店における英語メニューの作成方法を学びました。

効果 参加者と外国人がペアになって活動したことで、国際交流体験にもなりました。観光ボランティアは中高生の参加もあり、英語の重要性を認識してもらえる機会になりました。

「簡単な韓国語で弘前を紹介する講座」事業

弘前韓国語勉強会 ●●●



勉強したあとは・・・



公園で実践！

実施期間：平成30年4月1日～5月16日

実施場所：ヒロ口、弘前公園

参加者：のべ104人

補助金額：172,000円（総事業費：191,528円）

目的 韓国からの観光客が増えたことから、祭り時期などに韓国語で簡単な案内ができるようになること、実際にさくらまつりでの観光ボランティア体験を行うことで、観光客に来て喜ばれる弘前を目指すこと。

内容 弘前の観光を簡単な韓国語で紹介する講座を6回開催しました。学ぶことはあいさつや道案内など、観光客との会話に必要なものにしぼり、発音を重視しました。

効果 受講者は簡単な道案内ができる見通しがつき、ボランティア協会とのつながりもできたことから、今後も継続して案内ができる足掛かりができました。

「無料接客中国語セミナー・観光中国語ボランティア事業」

弘前市中国語を楽しむ会 ●●●



二ーハオ!
何回も
発声練習
しました



実施日：平成 30 年 7 月 1 日～平成 31 年 2 月 28 日

実施場所：市民会館、ヒロロ、弘前駅前、弘前公園

参加者：のべ 164 人

補助金額：219,000 円（総事業費：243,359 円）

目的 中国人と交流しながら中国語を学ぶことで、中国語を楽しむ人を増やし、中国人観光客を「おもてなし」して弘前を活性化させること。

内容 中国語を学びたい一般向けと、商店街等の接客業をしている方向けの 2 種類のセミナーを開催しました。一般向けセミナー受講者は、JR 弘前駅や弘前公園で実際に観光ボランティア活動も行いました。

効果 興味があってもなかなかきっかけがなく、一歩踏み出せなかった方にたくさん参加してもらうことができました。おもてなしフレーズを暗記して話しかけることで、中国人観光客とお互いの理解を深められました。

文化振興事業 「第2回 大森勝山遺跡と世界遺産登録を学ぼう会」

弘前縄文の会 ●●●



ニツ森貝塚遺跡
の見学



縄文時代のおしゃれ!?
勾玉づくり体験

実施日：平成30年4月1日～9月18日
 実施場所：文化センター、大森勝山遺跡など
 参加者：のべ633人
 補助金額：480,000円（総事業費：621,333円）

目的 「北海道・北東北の縄文遺跡群」についてや、登録候補遺跡群の一つである大森勝山遺跡などの価値について市民に広く知ってもらい、地域や観光の資源としての活用につなげる。

内容 大森勝山などで生活した縄文の文化が、世界的価値の高いことを知ってもらうため、縄文土器や勾玉を作る体験やほかの候補遺跡群の見学会などを行いました。

効果 体験や見学会などを通して世界文化遺産や縄文文化について市民に周知することができたほか、大森勝山遺跡でさまざまな体験を行ったことで遺跡を周知することもできました。

小学校体育支援事業「運動大好きプロジェクト」

特定非営利活動法人 スポネット弘前 ●●●



冬は
スキーも!

実施日：平成30年4月1日～平成31年3月20日
 実施場所：大成小学校、文京小学校、松原小学校、
 三大小学校、船沢小学校、裾野小学校
 参加者：5,772人
 補助金額：493,000円（総事業費：550,144円）

目的 子どもたちに運動を好きになってもらい、また、運動する習慣を根付かせ、健康増進や精神面の安定、健全育成に寄与すること。

内容 学校と専門の指導者が連携し、外部講師による体育の授業を行いました。教員には極力参加・協力してもらうことで、今後の指導の参考にできるようにしました。

効果 子どもたちは意欲的に笑顔で、楽しく体育の授業に参加してくれました。教員からは「今後に生かせるようなことを学べた」との声がありました。種目ごとの専門知識がある講師による指導は、子ども達・教員どちらにも非常に助かるとの意見もありました。

弘前スティールパン・フェスティバル

弘前大学スティールパン部 ●●●



ドラム缶の底を
叩いた形から
音階が生まれる♪



体験コーナーで
より楽しめる！



実施日：平成 30 年 6 月 30 日、7 月 1 日
実施場所：スペース・デネガ
参加者：70 人
補助金額：465,000 円（総事業費：517,644 円）

目的 ドラム缶から作られる旋律楽器であるスティールパンに触れてもらうことで、音の面白さや魅力を多くの市民に伝えること。

内容 小型スティールパンをつくるワークショップを開催しました。また、コンサートを開催し、受講者には団体メンバーとともにコンサートで演奏するという一連の流れを体験してもらいました。

効果 参加者には楽器を作り、コンサートで演奏するという貴重な体験をしてもらうことができ、コンサートでは演奏を聞きに来た来場者にスティールパンを体験してもらうことができました。

弘前さくらコンサート Vol. 4

Rainbow Muse Hirosaki ●●●



市民でつくるコンサート♪



実施日：平成 30 年 9 月 17 日
実施場所：弘前市民会館
参加者：600 人
補助金額：379,000 円（総事業費：2,216,035 円）

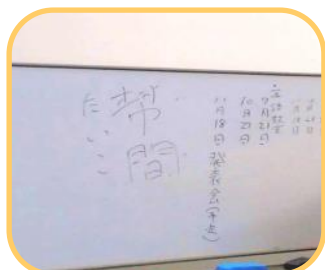
目的 市民に質の高い音楽に触れてもらう機会を創出し、来場者・出演者に生涯教育としても音楽に触れてもらい、幅広い音楽の楽しみ方を知ってもらうこと。

内容 子どもから大人までのピアノ演奏、コーラスやピアノと鍵盤ハーモニカの共演等と、鍵盤男子も招き、さまざまな音楽を交えたコンサートを開催しました。

効果 市民会館の響きとスタインウェイの音色や、様々な音楽を市民に届けることができました。一流の演奏家の質の高い演奏を生で聴けたことや一緒に演奏できたことは、将来の演奏家を育てる一助にもなりました。

焦点 —弘前とかけて落語ととく、その団体とは—

弘前男女らくご振興協会 ●●●



噺家さんから落語などを交えながら
「コミュニケーションのコツ」をきく！

実施日：平成 30 年 6 月 17 日～平成 31 年 1 月 27 日

実施場所：市民参画センター、観光館

参加者：94 人

補助金額：421,000 円（総事業費：467,978 円）

目的 落語を通じてコミュニケーションのコツを知ってもらい、様々な場面や立場での対話などに生かしてもらうこと。

内容 現役の噺家によるコミュニケーション講座を開催し、初対面の方と打ち解ける方法や、噺家ならではのコミュニケーション術を学んでもらいました。

効果 人間関係を構築する技術など、参加者が日常で生かせることを学んでもらうことができました。また、会のメンバーの中から講師ができるレベルに達した人も出てきました。

太宰治ドラマリーディング 津軽カタリスト定期公演 事業

津軽カタリスト ●●●



太宰が過ごした
空気を感じながら作品を
味わうことができます

実施日：平成 30 年 4 月 1 日～12 月 18 日

実施場所：太宰治まなびの家（旧藤田家住宅）

参加者：のべ 293 人

補助金額：178,000 円（総事業費：198,720 円）

目的 「弘前は太宰治研究の街である」ことを広く PR すること。

内容 全 4 回、太宰治の作品をアレンジして、季節に合わせた作品などを選び、ドラマリーディングの定期公演を行いました。

効果 途切れることなく公演を行うことで、団体の活動の認知度が上がってきたことを、県外から来場された方が増えたことで実感できました。それに比例して、「太宰治まなびの家」の認知度も上がってきていることを感じました。

みんなのウォークラリー大会 〈城下町弘前の文化〉に触れながら街探検をしよう

特定非営利活動法人 ひろさきレクリエーション協会 ●●●



追手門広場へ
集合して
いざ出発！



実施日：平成 30 年 6 月 3 日

実施場所：市役所を中心とした市街地

参加者：187 人

補助金額：125,000 円（総事業費：150,153 円）

目的 市民の皆さんが楽しみながら健康づくりをすることや郷土への関心・愛着を育むきっかけをつくること。

内容 コマ図という地図を見ながらまちを歩き、一緒に歩く仲間と弘前市の伝統文化や建築物を見たり、ねぶた絵を描くなどの体験をしました。

効果 歩くことが健康づくりのきっかけになることを参加者に意識づけることができたほか、参加者同士がコミュニケーションを取りながら歩くことで新しい知り合いができたという参加者もいました。また参加者からは、郷土の文化や建築物への関心や学習意欲が高まったという感想を聞くことができました。

第 2 回公演 メリーポピンズ

弘前子ども・おとなミュージカルクラブ ●●●



小さな
出演者も！



実施日：平成 31 年 2 月 3 日

実施場所：市民文化交流館ホール

参加者：のべ 229 人

補助金額：441,000 円（総事業費：534,306 円）

目的 地域の音楽活動をより豊かにし、ミュージカルに興味を持ってもらうこと。

内容 ミュージカル「メリーポピンズ」を、歌とあらすじを英語で、セリフは津軽弁を取り入れ、舞台背景は弘前の四季の風景を使用して上演しました。来場者と出演者が一緒に歌ったり踊ったりする場面も作りました。

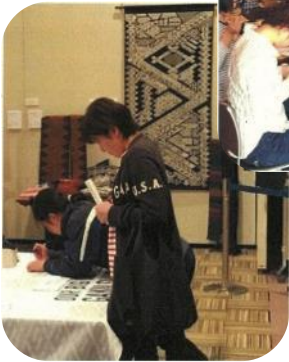
効果 大人と子どもの垣根を越えて活動・交流することができ、活気と積極性を伸ばすことができました。来場者には、郷土色が散りばめられた本格的なステージを楽しむことで、舞台芸術の良さを深めてもらうことができました。

第7回こぎんフェス

こぎんフェス実行委員会 ●●●



こぎん刺しの
プチフレームづくり



実施日：平成 30 年 4 月 28 日～30 日

実施場所：市民文化交流館ホール

参加者：2,749 人

補助金額：401,000 円（総事業費：580,230 円）

目的 津軽地方に古くから伝わるこぎん刺し文化を発信し、観光客に知ってもらうことや、市民が弘前・津軽への誇りや愛着を醸成すること。

内容 さくらまつり期間内に、こぎん刺しの展示・販売、ワークショップ、歴史や日本三大刺し子についての説明パネル展示等を行う「こぎんフェス」を開催しました。

効果 こぎん刺しの成り立ちや沿革への理解が進んでいると感じました。来場者アンケートの満足度も高く、自分で刺した作品を身に着けた来場者も増えました。カラフルな布や糸を使った新しいスタイルのこぎん刺しも、身近なものとして浸透してきていると感じました。

おしごと体験広場キッズハローワーク

おしごと体験広場キッズハローワーク実行委員会 ●●●



お坊さんや
介護の
体験も！



実施日：平成 30 年 10 月 15 日

実施場所：弘前学院聖愛中学高等学校

参加者：2,000 人

補助金額：500,000 円（総事業費：1,422,151 円）

目的 子どもたちに、大人になることや働くことが素晴らしいと思ってもらうこと。仕事を通して社会の仕組みや経済循環の仕組みを体感してもらうこと。

内容 誰もが知っているメジャーな仕事から、地域性の強い仕事まで、幅広い職業体験イベントを開催しました。社会の仕組みや経済循環を感じられる内容にしました。

効果 協賛してくれる企業や団体が増え、体験可能な仕事の種類が増えただけでなく、地域の産業を参加者に PR できました。また、参加した子どもから「将来キッズハローワークで働きたい」という感想をいただきました。

りんごのある暮らしと仕事

おしごと体験広場キッズハローワーク実行委員会 ●●●

りんごに
まつわる仕事が
たくさん！



実施日：平成 30 年 9 月 15 日

実施場所：弘果、弘前シードル工房 kimori、
うばさわ商店、株式会社ヒロサキ

参加者：35 人

補助金額：127,000 円（総事業費：149,156 円）

目的 りんごを支えてきた技術・伝統が地域に存在していることを子どもたちが知ること、故郷への誇りを持ってもらうこと。

内容 りんごの流通や競り売りの仕組み・収穫や加工製造過程・りんご箱を作る職人の仕事を実際に現場で見て、体験してもらうツアーを行いました。

効果 身近にあることが当たり前であるりんごについて、自分たちの地域で生まれ、根付いて生活につながっている産業だということを改めて実感してもらうことができました。故郷への誇りと愛着を喚起することや、後継者育成のきっかけにもなったと感じました。

津軽笛を通じた地域交流事業（第 3 回 全日本横笛コンクール）

津軽笛地域づくり実行委員会 ●●●

コンクールの
出場者が小学校
で演奏！



実施日：平成 30 年 9 月 22 日

実施場所：市民文化交流館ホール

参加者：約 800 人

補助金額：339,000 円（総事業費：797,621 円）

目的 全国トップレベルの笛の演奏を市民が見る機会を作り、6 人に 1 人が笛を吹ける街ひろさきの伝統文化「津軽笛」に、今まで以上に興味を持ってもらうこと。

内容 全国横笛コンクールを開催し、課題曲をねぶた囃子にすることで、全国の笛奏者がねぶたを知る機会を創出しました。また、コンクール前日には出場者が小学校で訪問演奏を行うことで、地域交流もできました。

効果 全国で活躍する一流奏者の演奏を間近で聴くことができ、ねぶた以外の横笛の音楽性に対する興味が増しました。笛を吹いている市民の来場も多く、参考になったとの声もありました。

松森町津軽獅子舞のしおり作成

松森町津軽獅子舞保存会 ●●●



400年以上
続く
伝統芸能です

実施日：平成30年7月1日～平成31年2月24日

実施場所：松森会館 ほか

参加者：約674人

補助金額：97,000円（総事業費：108,000円）

目的 伝統ある松森町津軽獅子舞の存在と価値を認識してもらい、後継者不足を解決することや、今後の活動を盛り上げること。

内容 松森町津軽獅子舞の構成や特徴、歴史についてまとめたしおりを作成し、地域へ配布したり小中学校に設置したり、公演の際には観客に配布しました。

効果 今まででは演舞を見てもらうだけでしたが、しおりの配布により観客の獅子舞に対する理解を深めることができました。また、配布をきっかけに会への参加を呼び掛けることもできたので、活動の活性化にもつなげることができました。

主体的に生きる力を育む「キャリア教育・ドリームマップ授業」

ドリームマップ@ひろさき ●●●



なりたい自分になるためには
どんなことが必要？



実施日：平成30年7月1日～平成31年3月20日

実施場所：市内7小学校

（西、時敏、東、船沢、城西、三木、石川）

参加者：278人

補助金額：213,000円（総事業費：266,353円）

目的 子どもたちが変化に富むこれからの社会の中で、主体的に生きる力を育む手助けをすること。

内容 市内の小学6年生を対象に、1～6時間目を使いキャリア教育の「ドリームマップ授業」を行い、自分や友達、弘前の未来について考えてもらいました。

効果 最初はなかなか明るい未来を描けなかった子どもたちも、授業の最後には自分の未来を肯定的に描くことができ、それを発表したことで、日々の練習や勉強が夢や目標のための行動になるという認識を持つことができました。教師や保護者からも、子どもたちが生き生きしていた、応援したくなったとの声がありました。

「ひろさき美術館3」

弘前アートプロジェクト実行委員会 ●●●



アーティストによる
トークイベント



実施日：平成 30 年 9 月 1 日～24 日

実施場所：弘南鉄道大鰐線中央弘前駅

「ギャラリーまんなか」

参加者：のべ 853 人

補助金額：278,000 円（総事業費：323,451 円）

目的 地元住民に今の中央弘前駅の記憶を残し、弘前の歴史ある建物や風景を大切に思う気持ちにつなげること。

内容 まんなかづくり実行委員会、弘南鉄道(株)と密に連携し、弘南鉄道大鰐線中央弘前駅構内の「ギャラリーまんなか」で、さまざまなアーティストによるコラボ展示、イベントを行いました。

効果 展示される作品によって空間が変わる場所の魅力を楽しんでもらうことができ、弘南鉄道利用者には日常の中にアートを楽しむ機会を提供することができました。

コミュニティシネマ事業「harappa 映画館」

NPO 法人 harappa ●●●



上映後には、
映画にまつわる
お話も…



実施日：平成 30 年 7 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

実施場所：弘前中三スペースアストロ、スペースデネガ

参加者：485 人

補助金額：500,000 円（総事業費：1,095,028 円）

目的 中心市街地で映画上映の機会を設けることで地域との連携を高め、まちなかの賑わい創出に寄与すること。

内容 中心市街地の会場で、洋画・邦画・ドキュメンタリーと、弘前では上映されない近年話題の作品を上映しました。上映作品の監督やプロデューサーなどをゲストに招き、シネマトークも開催しました。

効果 市民が中心地で映画文化を存分に享受できる機会を提供することができ、心の豊かさを創出することができました。来場者は近隣で飲食・買い物もしているので地域振興の一助になり、また、地域の良さを再認識することにもつながりました。

こども harappa びじゅつのじかん

NPO 法人 harappa ●●●



動物になりきって
弘前公園の
動物園を再現！？



実施日：平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

実施場所：文化センター

参加者：118 人

補助金額：236,000 円（総事業費：342,598 円）

目的 自己表現の楽しさに気づくことで芸術教育や心の教育を行い、新たに楽しく過ごせる場をつくること。

内容 月に一度小学生を対象に、様々なジャンルのアート制作・鑑賞体験を行うワークショップを開催しました。

効果 ワークショップのあとに家でも制作をするなど、美術に興味を持ち始めた様子で、子どもたちにとって創造力を刺激する機会となり、見学した保護者にとっても、美術への興味を広げるきっかけになりました。また、かつての弘前公園を題材にしたワークショップでは、家族から話を聞いて参加した子どもたちもいて、弘前の歴史を知ることや興味を持つことにもつながりました。

ギネス記録も持つ！！津軽の笛が大集合！ 第6回 津軽笛博覧会

津軽笛地域づくり実行委員会 ●●●



コンサートでは、
コンクール入賞者による演奏も！

実施日：平成 30 年 9 月 23 日

実施場所：藤田記念庭園

参加者：450 人

補助金額：231,000 円（総事業費：256,749 円）

目的 津軽に伝わる文化を深く掘り下げて学ぶことで、津軽笛の愛好家を育成し、笛指導者のレベルアップを図ること。

内容 ねぶた囃子・登山囃子など津軽笛のワークショップや、各地の郷土芸能・津軽笛のコンサートを開催しました。

効果 ワークショップでは昨年から引き続き参加してくれた方が多く、津軽笛奏者の掘り起こしがされてきたと感じました。また、江戸囃子を聴く機会もつくったことで、市民の見聞が広がり、津軽の囃子の独自性を改めて知ってもらうこともできました。

スポーツ指導者講習会&青少年のスポーツ環境フォーラム ～部活動がなくなると、指導者、地域はなにをしていくべきか～

特定非営利活動法人 スポネット弘前 ●●●



スポーツ
環境を考える

実施日：平成 30 年 7 月 1 日、12 月 2 日
実施場所：ヒロロ 健康ホール、中央公民館岩木館
参加者：78 人
補助金額：147,000 円（総事業費：201,255 円）

目的 将来的に地域全体で子どもたちのスポーツ環境を担っていく必要があるため、地域課題や今後の仕組みづくりについて考え、指導者の育成につなげること。

内容 スポーツ関係者の指導者・マネージャーのスキルアップ講習会と、青少年のスポーツ環境についてのフォーラムを開催しました。

効果 講習会・フォーラムともに非常に充実した内容にできました。さまざまな社会的背景から、スポーツをする環境が少なくなっているという現状や、受け入れる指導者側のスキルも問われるようになってきているということを理解していただきました。

HIROSAKI JAZZ STREET 2018

弘前駅前遊歩道賑わい祭実行委員会 ●●●



ジャズをBGMに
散歩や買い物を楽しみました

実施日：平成 30 年 6 月 2 日
 実施場所：弘前駅前公園周辺及び周辺遊歩道
 参加者：20,000 人
 補助金額：500,000 円（総事業費：1,072,818 円）

目的 弘前駅前公園及び遊歩道を活性化させるため、より多くの市民が街歩きをするきっかけを作り出すこと。

内容 市内外の JAZZ バンドや、航空自衛隊音楽隊、市内中高の吹奏楽部を多数招致し、ストリートライブ及びコンサートを開催しました。

効果 イベントをきっかけに、多くの市民が遊歩道を歩き、ジャズを楽しみながら駅前地区の良さを知ってもらうことができました。周辺店舗からは、大きな集客効果があったとの意見が寄せられました。出演団体からも、来年もぜひ参加したいとの声が多数あり、地域活性化が進んだと感じました。

「あのね、知ってる？ここにもフランス」プロジェクト

弘前グローバル・アクション ●●●

おなじみになってきた
蓬萊広場でのマルシェ



実施日：平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 1 月 31 日
 実施場所：蓬萊広場
 参加者：690 人
 補助金額：471,000 円（総事業費：538,102 円）

目的 外国文化をとおして弘前の魅力を再発見してもらうこと。国や年齢を越えたつながりを築くこと。

内容 フランス風マルシェを開催し、フランスの文化や言葉を体験できるワークショップや、フランス文化を通じた交流の様子の展示を行うほか、フランス人による落語会を開催しました。あわせてリーフレットも配布しました。

効果 マルシェは幅広い年代の方が来場し、アンケート結果からも、フランス・欧州文化を身近に感じてもらうことができたと感じました。地域連携ブースやリーフレットにより、弘前の魅力を再発見・新発見してもらうことができました。

DOG FES IWAKI 2018

DOG FES IWAKI 実行委員会 ●●●



実施日：平成 30 年 10 月 21 日
 実施場所：岩木青少年スポーツセンター
 参加者：1,548 人
 補助金額：500,000 円（総事業費：1,318,022 円）

目的 愛犬と暮らす地域環境を少しでも良くし、人と犬との関係性やマナー、命の大切さを知ってもらうこと。

内容 愛犬と楽しみながら学べるイベントを開催しました。ドッグランや、しつけ教室などのワークショップ、ミニゲームのほか、災害時の備えの講義も行いました。

効果 野外イベントへの参加は、愛犬家のマナー向上の大きなステップになりました。愛犬の環境の変化への反応を見ることができ、トラブルを未然に防ぐ知識を得ることができました。ワークショップや講義では、日常で役立つ情報や絆を深める多くの情報を提供し、災害時の意識向上にも寄与しました。

「家の整理は 心の整理」
 シンプルで心地よい暮らしを一緒に見直してみませんか

弘前友の会 ●●●



実施日：平成 30 年 9 月 1 日
 実施場所：市民文化交流館ホール
 参加者：272 人
 補助金額：14,000 円（総事業費：215,606 円）

目的 片付けや掃除を通して家庭生活のあり方や生活環境について考えてもらうきっかけの場を提供し、物との付き合い方、暮らし方を見直してもらうこと。

内容 家事アドバイザーによる、構成員宅で行った片付け・掃除をもとにした講習会を開催しました。

効果 普段はあまり会話に上がらない片付けのことを具体的に学ぶことで、意識の向上を図ることができました。学んだことを早速実践し、気持ちがすっきりしたなどの喜びの声が聞かれました。また、構成員の意識や技術も高まり、今後は構成員が講師として講習会を展開していく足掛かりにもなりました。

実際の
 ビフォー・アフターで
 よりわかりやすく



ひろさきの「古い街並み写真」の水彩写生を通じて街並をアーカイブする重要性を再認識しよう
「みんなで描こう ひろさき『古街（ふるまち）』百景」

津軽ひろさきマーチング委員会 ●●●



カレンダーで
昔の弘前を懐かしんだり、学んだり

実施日：平成30年10月1日～平成31年1月15日
実施場所：イオンタウン弘前樋の口店
参加者：のべ610人
補助金額：328,000円（総事業費：485,500円）

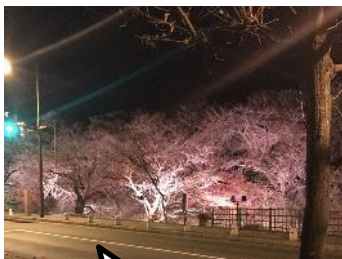
目的 より広く景観保存の重要性を周知し、併せて今の風景を大切にする意識の向上を目指すこと。

内容 白黒写真でしか残っていない風景について、写真の展示と水彩画として着色し描くイベントを開催しました。また、写真と水彩画をカレンダーにして、公共施設や地域にて掲示・配布しました。

効果 白黒写真の展示では当時の様子について、お孫さんやお子さんに昔話を語る様子や、知らない人同士でも話したり、世代を超えた交流が盛んに行われていました。カレンダーについても、一般の方はもちろん小中学校では「昔の弘前を知ることができる」と好評でした。

冬に咲くさくらライトアップ

冬に咲くさくらライトアップ実行委員会 ●●●



冬の
弘前公園も
さくら色に



実施日：平成30年12月1日～平成31年2月28日
実施場所：弘前公園 外濠
参加者：約265,000人
補助金額：241,000円（総事業費：1,102,278円）

目的 弘前の冬の魅力や美しさを市民に認知してもらうとともに、観光客が減少する冬期間の観光資源としての活用を目指すこと。

内容 弘前公園外濠の雪が積もった桜の木をさくら色にライトアップしました。その様子をSNSで発信し、見に来た方へ写真の撮り方のアドバイスも行いました。

効果 市民の外出機会や、市民同士、国内外から訪れた観光客らとの交流機会を創出することができました。冬期間の弘前が持つ魅力や価値を再発見するきっかけになり、市民が自信や誇りを持つことにもつなげられました。

お問い合わせ : 弘前市 市民協働課
電話 0172-40-7108 (直通)
ファクス 0172-35-7956 (代表)
Eメール shiminkyoudou@city.hirosaki.lg.jp

